

■事務局より、資料3、資料4、参考資料1～3に基づき説明を行い、その内容について質疑を行った。

[配布資料]

- 資料1 宮崎市駐車場整備計画検討委員会設置要綱・委員名簿
- 資料2 宮崎市駐車場整備計画(平成17年4月策定)
- 資料3 宮崎市駐車場整備計画検討委員会第1回委員会資料
- 資料4 ～他都市の整備事例～・～アンケート調査票(案)～
- 参考資料1 駐車場整備地区内固定資産税路線価格の変化、
建物建築年数・駐車場位置図
- 参考資料2 宮崎市内における小売業販売額の推移(抜粋)
- 参考資料3 ウォークブルなまちづくり(中心市街地の活性化)

[説明概要]

★資料3

◆駐車場整備計画について

駐車場法、駐車場整備地区、駐車場整備計画について、国の施策を説明。平成10年頃から自動車の保有台数は伸び率が鈍化しほぼ横ばいになっているのに対し、駐車場総台数の伸び率は変わらず、駐車場余りの傾向が進行していること、国の指針としてまちづくりと連携した駐車場施策が示されていることを説明。

資料4に基づき他都市の事例紹介も行った。

◆宮崎市における駐車場整備地区について

昭和46年12月宮崎市駐車場整備地区173haを都市計画課決定、平成17年4月、宮崎市駐車場整備地区245haを都市計画決定。

◆平成17年宮崎市駐車場整備計画の概要

計画の概要、駐車施設の現状、駐車場整備の課題と基本方針、計画目標、現計画の評価、駐車場整備計画と市の他計画との関連性について説明。

評価については今後実施予定の各調査等により、第2回委員会にて検証予定。

◆計画の改訂について

改訂の方向性として、参考資料1～3も使用し駐車場整備計画をなぜ改訂するのか、施策の基本的考え方(検討すべき施策)、目指すべき将来像を説明。

今後調査・検討する項目を委員会のスケジュール(案)に沿って説明。また、他計画で書かれているまちを取り巻く現状と課題、中心市街地を取り巻く課題から今後検討すべき事項について触れた。

★資料4

◆アンケート調査票(案)について

今後3ヶ月程度をかけて行うアンケート調査について、駐車場利用者アンケート、平面駐車場地権者アンケート、ビルオーナーアンケートを説明。

★資料3

◆今後の進め方

以下の通り、今後の予定を説明。

- ・第2回委員会(11月上旬頃予定)
各調査結果に基づく検証、駐車場整備地区について検討、施策案の検討。

- ・第3回委員会（1月下旬～2月上旬頃予定）
駐車場整備地区を変更する場合都市計画審議会での審議が必要となるため、開催予定時期に幅がある。駐車場施策、計画素案の検討を予定。
- ・第4回委員会（パブリックコメント次第での開催予定）
パブリックコメントの結果次第で開催。場合によっては年度をまたいでの開催となる可能性もあり。

◆質疑応答

[委員]

イオンモールが完成した後YYパークの整備など、現計画を策定する際駐車場が足りない等意見があった。KITTENビルなどまちなかが整備されてきている中、駐車場整備地区内での駐車場について具体的把握はどうするのか。

[事務局]

第2回委員会までに実態調査を実施予定。現状の把握・分析を行い委員会にて示す予定。

[委員]

現状分析をしっかりとしてほしい。まちなか商業が大きく変化しまちなかの様子が変わっていく。今まで大型ショッピングモールが中心だったが近年様々なモールが諸所にでき、中心市街地は更に疲弊している。魅力あるまちづくりを考えていくとき、今後20年、30年を十分に考えて、まずは現状をしっかりと把握すべき。

[委員]

需要予測について、平成17年当時はどうのようにしていたのか。

[事務局]

H11交通センサスとH11課税台帳から需要係数を算定。それにより建物用途別需要係数を求め、また、PT調査の推計人口、事業所統計調査、商業統計調査から将来床面積の伸び率を設定、市の実施した駐車場実態調査からピーク率を算定し、H16ブロック別用途別延べ床面積に建物用途別需要係数とピーク率を掛け現況の需給バランスを算定。将来の需給バランスは、先の将来延べ床面積の伸び率を掛け算出。駐車場の目的別比率と目的別駐車場施設比率らを掛け駐車場別の需給バランスを算定している。

[委員]

大規模商業施設において延べ床面積などの条件によって設置される附置義務駐車場と市の計画の関連性についてどうなっているか。

[委員長]

17年の需要推計において個別の大規模店舗が設置した駐車場とどのように整合を取ったかということでもいいか。

[委員]

整合を取ったか、ということと、駐車場の整備について各事業者が各自の努力で整備されたのか、あるいは市と協議しながら場所を整備したのか、ということ。

[事務局]

先の将来需要推計をどのように算出したかという質問に対し、各統計調査をもとに将来の伸び率を設定して推計したと説明したが、その推計の中にはその時点で何処に何ができるかということ不明な状態で行っているもの。最近の事例も含め事務局としては推計値に含まれていると考えている。そのような中、駐車場整備地区内では附置義務制度

が条例で義務付けられていることから、一定以上の商業施設を作るとなれば、条例に基づいた規模の駐車場を設けなければならないと理解しているところ。

[委員]

現状は良く分かる。個々の話になるが、歩きやすいまちづくりと駐車場整備をどうするのか、どのように連携できるかわからないが、市の計画と連携して大規模商業施設の駐車場を設置されたものかなと思う。

[事務局]

今回の駐車場整備計画は2つの要素を考えている。1つは駐車場整備地区内の駐車場の不足が生じているかといった実態を把握してうえでこれからの社会情勢の変化に対応した施策を検討。もう1つは、まちなかの低未利用地の小規模駐車場が多数あり、こういう低未利用地をまちの回遊性や賑わいを考えながら、新しいスタイルの駐車場整備計画を作成していくという視点。今後実態調査を踏まえ検討を進めていく予定

～換気中断～

[委員]

駐車場改訂の方向性について、ファクターが多いものをどのようにまとめていくのか、例えば人の種類だと観光者なのか定住者なのか、大規模施設などの配置は決まっているが既存施設に対しては再編まで考えるのか、歩行者の動線、駐車場の集約、公共交通ネットワークなど様々あり、目指すべき方向は理想的なものとなると思う。本計画を今年度中に策定するという事なので、どこまで理想的なものを求めるのか、目標年次を具体的に定め、その年次に向けて何かを固定した上で改訂を進めていく予定なのか。資料の定量的・定性的が該当すると思うが、定性的だと理想論的なもので年次が定められるのか、定量的だとある程度の目標が出てくるかと思う。計画改訂の方向性としてどのように考えているのか、現時点の考えは。

[事務局]

官民連携の考え方に沿って様々な方にご協力いただきながら計画していく。目指すべき方向性として、1 駐車場の過不足、需給不足の解消の確認、2 ウォークブルなまちづくりを目指すために歩行者の動線、実態を把握する必要がある。3 先月立地適正化計画を策定、駐車場整備地区は都市機能誘導区域に設定しており、人々が快適に歩けるまちづくりという目標の中で人とクルマが安全に対応できるか、対応するために駐車場配置適正化区域を設ける場合もある。駐車場配置適正化区域は条例を定める必要もある。1年目として駐車場整備計画の目指すべき方向性を整え、次のステップとして具体的な誘導施策について検討していきたい。1年間という期間はハードルが高く難しいことかもしれませんが目指すべき方向性を示したいと考えているところ。

[委員長]

今年度は計画の基本的な方針を固めていくイメージか。

[事務局]

そうなる。

補足として、年度内の計画策定を目指しているが今後コロナの影響などもあり、まちづくりと連携していくことから様々な議論が想定される。コロナの状況や様々な状況を踏まえながら、策定の時期についてはもう少し先の時点で見極めたい。

[委員長]

現状の整理②の駐車場整備地区内における駐車場の分布状況を把握の項目にある用途別、構造、収容台数の整理が大事だと思う。用途別に加え、駐車場になる前の土地の用

途、駐車場になった時期を把握することも必要。調査可能な範囲でいいので検討を。

[委員]

関連して、宮崎商工会議所では南宮崎駅前の商店街から一番街商店街、駅前商店街などにおいて、どういう業種の店舗が空き店舗になり、それから駐車場になったかというデータを蓄積している。空き店舗の調査をしていくが、空き店舗にならないうちに駐車場になるなど、最終的に駐車場化していくことになる。空き店舗の期間変化についても商工会議所のデータを活用いただければ。

[委員]

駐車場利用者アンケートは調査箇所10箇所となっているが、アミュプラザ影響エリアはどこを想定しているのか。また関係ないエリアも複数あるかと思うがそこはアンケートをとらないのか。

[事務局]

10箇所中半数は中心市街地、それ以外を周辺エリアとしている。周辺部もアミュ開業の影響を把握するため近場を予定している。

[委員]

調査箇所はアミュプラザに限定しなくてもいいのでは。駐車場を利用する方の目的ということで、現状を把握することが最も重要かと思う。

[事務局]

いただいたご意見を踏まえ、対象箇所について検討させていただく。

[委員長]

アンケート調査を実施する目的からすると、利用者の利用目的等、アミュプラザの開業による影響、アンケート調査を実施する位置と調査結果をどう繋げられるかというのを紐付けて、調査から得られる結論等を踏まえると、対象箇所が10箇所は少ないと考える。様々な目標や目的があるので再検討したほうがいいのでは。

[委員]

自分たちもアンケート調査をよく行うが、駐車場の調査は難しいこと、対象エリアの駐車台数に対して何%が稼動しているかといった視点も踏まえて、対象の駐車場を選定するのがいいか考える。

[委員長]

アンケート調査の結果をどのような施策に繋げるかといったところで、駐車場施策の変化などを想定して調査箇所を選定する必要があるか考える。

[委員]

平面駐車場地権者アンケートの問6に誘導につながるような箇所があるため削除したほうがいいと思う。

[委員長]

事務局は修正と検討をよろしく願います。

[委員]

スケジュールだが15年前は量的な課題を解決するための計画だった。今後、様々な課題がありどのような内容とするのかと思うと1年通して作成していく中で細々したところまでは難しいかなと思う。

[委員長]

スケジュールは説明のあったとおり変更の可能性もあるので了解願う。今後商工会議所等々と連携しながら進めてほしい。

以 上